

けんこうニュース

発行所
奥津医院
 南足柄市生駒381
 電話 0465-74-0024
 発行人 奥津紀一

第四十五回全日本医師テニス大会
 院長参加

四月二十九日、三十日、静岡県掛川市の「ヤマハリゾートつま恋」で開催されました。院長は、本年も小田原の遠藤郁夫先生とペアを組んで参加しました。快晴の一日間、緑の多い環境の中でテニスを楽しんできました。順位を決める大事な試合に負けてしまい団体戦、個人戦共に準優勝でした。



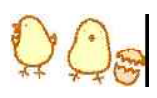
バラ園 奥津直道画

登録医制

最近厚労省は七十五才以上の後期高齢者を対象とする医療制度の考え方で、「個々の疾患を疾患別に診るといふ医療でなく、精神的な不安も含めた複数の疾患について、トータルに診ることができる医療が必要」としている。

糖尿病の患者さん 日本糖尿病協会に入会しませんか

当院では、糖尿病の診療に力を入れておりますが、患者さん、医師、スタッフで構成される、日本糖尿病協会へは、入会してありませんでした。



考え方としては良いのだが、昨年の国会で、新高齢者の医療制度の診療報酬を巡り、終末期に任用で、定額の報酬導入の企画が厚労省にあることが指摘され、野党議員から追及されていたのでこの問題については今後も十分な注意を払ってゆく必要がある。

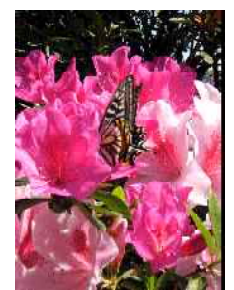
月刊誌『糖尿病ライフ・さかえ』（日本糖尿病協会編集）を配布
 各支部で行われるウォークラリーの開催
 患者同士の懇親会、デイスカッションの開催
 月刊誌「さかえ」の購置、その他診療所単位で開く懇親会などが主な内容となります。

このたび、二名の患者様より入会のご希望が生まれました。医療機関毎に入会するシステムになっており、患者様とメディカルスタッフ10名以上で申し込むことになっていきます。

「友の会」の活動
 医療スタッフと患者が定期的に催す独自の勉強会や歩く会の開催

以前も計画はあったのですが、会長になってくれる方が見つからず、そのままになっておりましたが、ご希望が生まれて、会長になっても良いという方がおいでになります。
 ご希望の方はお申し出下さい。

湧言飛語



老人関係施設開設相次ぐ
 最近、この地域で老人関係の施設開設が相次いでいます。

介護保険の関係で、必要は多くなっているため利用者にとっては好都合です。しかし、このところは、医療福祉関係団体の設立というより、建設事業が主になっている施設が多いようです。利用者は良く考えて利用を決めましょう。

その半面、そういう施設は、発足時満杯に近い状態を作ることが義務づけられているようで、発足した段階で、一応満杯になっているようです。それから、新規の入所が、可能となります。ですから、施設で開設するところというニュースが入ったところで入所の決断をしないといけなくなっています。

院長